



# 第31回全国社会人躰道優勝大会

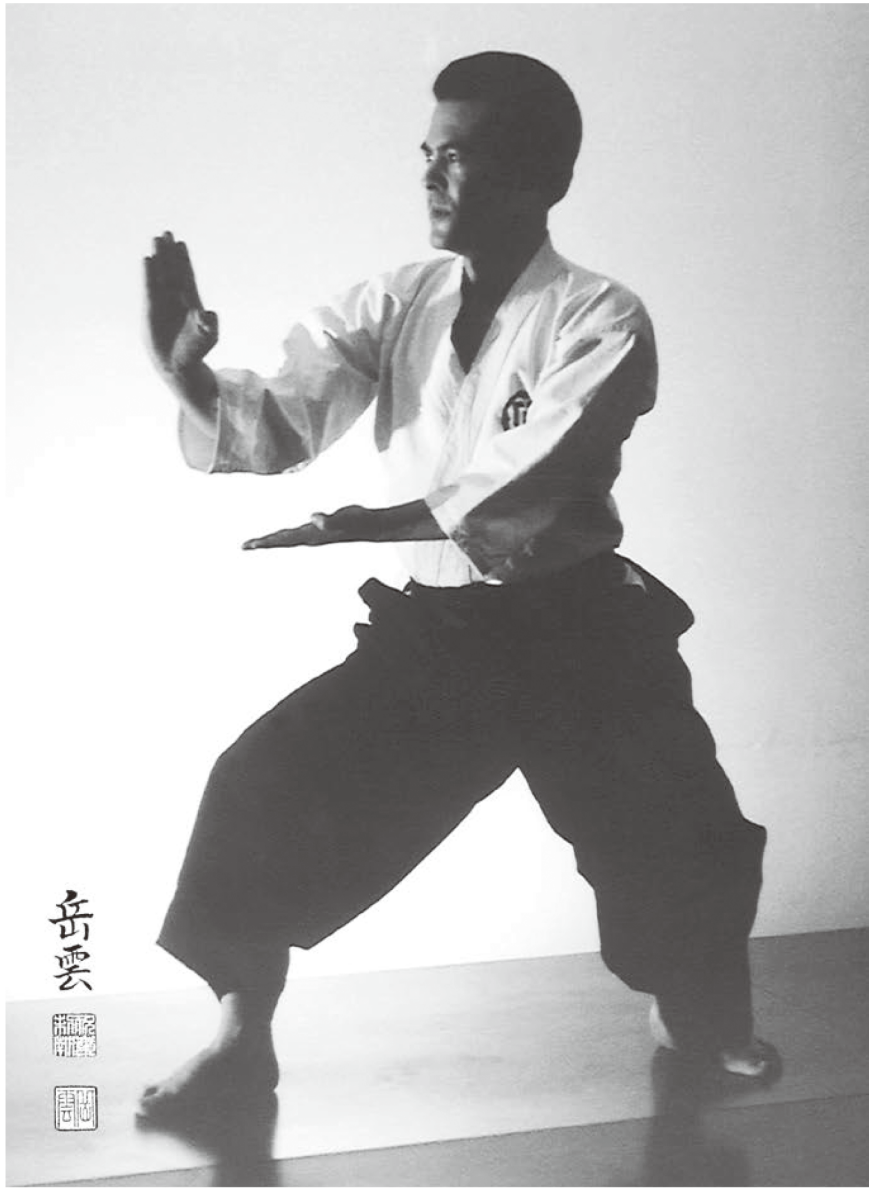
主催：NPO 法人日本躰道協会

公認：一般社団法人日本武藝躰道本院

日時：令和4年9月17日（土）  
開会式 13:00 時～

場所：東京武道館（第一武道場）

表紙写真：第30回最高師範杯受賞者 金子選手



岳雲



## 躰道五条訓

- 一、心明鏡にして諸行の真相を写し  
心位正しきを得れば惑さる事なし
- 一、態端正にして心形の一体を固り  
態位正しきを得れば侮られる事なし
- 一、氣充溢にして精氣を丹田に発し  
氣位正しきを得れば恐れ戦事なし
- 一、行実践するに倫理の常道を守り  
行位正しきを得れば誤り行う事なし
- 一、技変にして身体を自在に移し  
技位正しきを得れば制される事なし

## ご 挨拶

日本武藝躰道三代宗家  
祝 嶺 正 献

七月に山形県朝暘武道館で行われた全国少年少女、高校生大会に続き、この度、第31回全国社会人大会が東京武道館の会場をお借りして開催される運びとなりました。未知のウイルス感染症と共に生きるニューノーマル社会での取り組みを機に、より衛生的な環境への配慮が求められる一方で、ウクライナ情勢の緊張が私たちの生活に及ぼす影響、気候変動が齎す異常気象により頻発する自然災害等、規模の大小を問わず、安心、安全に暮らすことへの意識がこれまで以上に高まっているように思えます。

未知なるもの、不得手なものから学ぶことは多いとこれまで以上に気付かされるようになりましたが、新種のウイルスを含めた他者の多様性と多様な他者性に試されながらも適切な距離感を保ちつつ融和することの大切さを学びました。躰道を始める年齢や地域は異なりかもしれませんが、社会人としての日常に躰道が在り続けることが本大会参加へと通じ、交流の場として31年続く大会の価値を確立しています。それぞれのフィールドで活躍される皆さんの健康維持に躰道が役立っていてこそそのエントリーかと思われます。

続けたくなるものに出会える事、何らかの理由で続けることが出来なくなったとしてもまた戻ってくる場があるということは、ストレス社会に生きる上での自己表現を豊かにしてくれるように思えます。溢れる情報の中から必要なものを選ぶ選択の可不可は今や個人の掌に委ねられていますが、他者との円滑なコミュニケーションの場は健康な心身維持に必要な生活のリズムを整えるのに大切な役割を果たしていると言えます。

人の禍は外から降りかかってくるもの、内から健康を蝕むものであることは太古から変わらないのかもしれませんが。加えてITの時代では心理的に判断力を鈍らせ行動に戸惑いを覚えながらも負の結論へと思考や行動を終結させることの積み重ねで自分を弱らせてしまうことも多々あります。国際社会がより持続可能な循環型社会を目指すようになればなるほど、これからの「自」と「他」、「自分」と「社会」、「人」と「自然環境」、そして、「自分」と「自分」を巡るものについて考えて行きたいと思えます。

最後になりましたが、大会開催にあたりご尽力頂いた関係各位、実行委員会を始めとする日本躰道協会の皆様方に感謝申し上げ、また、出場される皆さんの安心、安全をお祈りし、挨拶とさせていただきます。

令和4年9月

## ご 挨拶

大会会長  
工藤善己

第31回全国社会人躰道優勝大会が、ここ東京武道館において開催されますことに、実行委員会並びに大会関係者の皆様に対し、心より感謝と御礼を申し上げます。また、全国各地でコロナ感染者が過去最高と不安定な環境の中、今大会に参加されました選手の皆様に御礼申し上げます。

本大会も、昨年同様コロナウイルス感染症対策を講じながらの開催となります。大会要項に「新型コロナウイルス感染防止等による基本方針」が掲示されております。熟読していただいたことと思いますが、大会での感染対策ルールを厳守していただきたく、節にお願いいたします。

さて、昨年はコロナ禍において世界的なスポーツの祭典である東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催され、感動と平和の中で閉会されました。オリンピックの開催が、国内外の各競技大会開催に拍車がかかった事はコロナ禍での前進でした。いかにコロナと共生して社会を進めていくのか、創造進化しなくてはなりません。そして、このような大変な時に、まさか起きるとは思わなかった戦争が現実起きており、未だ終息する気配も見せず半年が過ぎております。第二次世界大戦を体験しました祝嶺正献最高師範が、もう二度と戦争が起きないようにと願いを込めて創始したのが「躰道」であります。相手と共に存在し、共に栄え、調和して未来を創っていく、これが「躰道理念」なのです。

昭和・平成・令和と、人の命を軽視する事件が年々多くなっている事に危機感を感じます。躰道の修練によって「武徳」を身につける事が、社会平和に貢献できる人材育成に繋がることと信じております。参加されました選手諸君は、「考えて動く武道」のもと修練に励んでこられたことと思います。今大会には、美しい実技・迫力ある攻防・ダイナミックな展開を期待してまいりました。善戦健闘を祈ります。

最後に、今大会を開催するにあたり、ご尽力いただきました関係者の皆様に、益々のご繁栄とご健勝を祈念いたしまして、大会の挨拶とさせていただきます。

令和4年9月

# 大会役員

大会会長 工藤善己 [NPO法人日本躰道協会]

大会審判員 審判長 千葉健志

審判員 安部幸史郎・石川健次・小林 学・北澤秀明・中野哲爾・春日世生・小牧 武  
横山典子・増岡智大・十河 剛・青木寛敏・涌井貴志

大会実行委員会

委員長 小林 大輔 [正統館]

副委員長 増岡 智大 [吉野電設株式会社]

委員 石川 欣一 [(株)ストルアス] 岡本 衛 [興栄工業(株)]  
萩原 利克 [自営] 小林 誠弥 [(株)ミカミ・アイエヌジー]  
福長 寛之 [(同)飛鳥企画] 千葉 健志 [横浜道場]  
宇野 友季子 [キヤノン(株)]

医 務 星 忠成 [(医)港北ニュータウン診療所]

参加県・地区協会責任者

加賀谷 宏 [北海道] ・芝波田邦博 [埼玉県] ・清田義男 [千葉県]  
岡本 衛 [東京城東] ・石川健次 [東京城北] ・良本真基 [東京城南]  
小林真由 [東京城西] ・太田 寛 [東京多摩] ・中條正崇 [神奈川県]  
泉 智慶 [新潟県] ・板山宜弘 [山梨県] ・加藤明彦 [静岡県西部]  
山本清隆 [愛知県] ・中田明年 [大阪府] ・菅城成昌 [京都府]  
田中勇悦 [沖縄県]

協力地区団体 東京城東地区躰道協会・東京城西地区躰道協会・千葉県船橋市躰道協会

# 大会次第

## 競技

9 : 3 0 ~

個人法形競技（女子の部）  
個人法形競技（新人の部）  
個人法形競技（級位の部）  
個人法形競技（命有段者の部）  
個人法形競技（男子の部）  
個人法形競技（女子の部）  
個人法形競技（制の部）  
団体法形競技

[予選A・B・Cコート]

※ABCコートは1F第一武道場 3F第二武道場は選手待機場所

## 開会式

1 3 : 0 0 ~

国歌斉唱		
大会宣言	小林 大輔	[大会実行委員長]
大会会長挨拶	工藤 善己	[NPO法人日本躰道協会会長]
選手宣誓	湊宏 司	[北海道躰道協会]
躰道五条訓	木勢 茉莉	[東京城西地区躰道協会]
審判団紹介		

## 競技

1 3 : 3 0 ~

個人実戦競技（男子の部）  
個人実戦競技（女子の部）  
個人実戦競技（壮年の部）  
団体実戦競技（女子の部）  
団体実戦競技（男子の部）

# 時程表

【入館】8:30:役員・審判 選手:9:00 【審判打ち合わせ】8:50 【審判諸注意】9:10 【予選開始】9:30

競技は第一武道場のみで実施。午前中のみ3コートで実施(法形のみなので開始線を引くだけとする。) 午後は例年通り2コート

第二武道場は次に第一武道場で実施する競技者の待機場として使用。待機場スケジュール通りの使用をお願いします。入館も同様をお願い致します。

コロナ対策として人数制限がございます。第一武道場:選手人数を40名以下/第二武道場:選手人数80名以下と制限を設けて開催致します。ご協力お願い致します。

男子個人法形/男子個人実戦に関してA・Bグループ分けをしてあります。該当NOを確認し、スケジュールに沿って入退場をお願い致します。

		9:30	10:30	11:30	12:30	13:00	13:30	14:30	15:30	16:30	17:00			
1 F 第一武道場	A コート 置	女子法形 予選 15試合 1~9:転陰 10~:自由(陰)	3決 決勝 16 17	男子法形A 予選 6試合 1,2,12,13:転体 20,24:自由(体)	男子法形B 予選 7試合 決勝 6,7,8,16,18:転体 27	団体法形 5子一ム 1:新潟県 2:創玄会 3:己録館 4:港区道場 5:東村山市	男子実戦A 予選 13試合 1~5,21~24 37,38,45,49	男子実戦B 予選 12試合 決勝 16~20,33~36 52 43,44,48	女子実戦 予選 8試合 決勝 1,3~6 18 11,12,15	壮年実戦 男子:女子 4試合:2試合 1,2,5 1 8 4	女子団実 2試合 1:東京城西×己録館B 3:上記勝者×己録館A	男子団実 3試合 1,4 7	撤去	
	B コート 置	新人法形 予選 10試合 決勝 1~3,6~9,14,15,18 21	級位法形 予選 3試合 決勝 1,2 3,4	男子法形A 予選 6試合 3,4,5,14,15:転体 21:自由(体)	男子法形B 予選 6試合 決勝 9,10,11,17,19:転体 26		男子実戦A 予選 12試合 6~10,25~28 39,40,46	男子実戦B 予選 13試合 決勝 11~15,29~32 51 41,42,47,50	女子実戦 予選 8試合 決勝 2,7~10 17 13,14,16	壮年実戦 男子:女子 4試合:2試合 3,4,6 2 7 3	男子団実 1試合 2:山梨正統館×清武会	男子団実 3試合 3,5 6		
	C コート 置	新人法形 予選 9試合 3決 4,5,12~13,16,17,19 20	命法形 有段 予選 3試合 決勝 1,2 3,4	制の法形 予選 16試合 3決 決勝 1~16 天・地・ 仁制より選択 17 18										
	選手人数	女子法形/新人 38名	女子法/級/命 25名	男法A/制 31名	男法B/制/男法A24出場者 34名	団体法形 25名	26名	男子実戦A 26名	男子実戦B 27名	女子実戦/壮年実戦 30名	女子団実/男子団実NO2 30名	男子団実 36名		

第二武道場(選手待機場)スケジュール:下に該当する選手のみ使用可。開会式へは男子実戦競技Aへ参加する選手が整列をお願いします。

		9:30	10:45	12:00	12:30	13:00	13:30	14:10	
3 F 第二武道場	使用可能者(下記種目出場者)	使用可能者(下記種目出場者)	使用可能者(下記種目出場者)	使用可能者(下記種目出場者)	使用可能者(下記種目出場者)	使用可能者(下記種目出場者)	使用可能者(下記種目出場者)	使用可能者	撤去
	級位法形/命の法形(段位) 男子法形/制の法形	男子法形B/団体法形 男子実戦A	男子実戦A 男子実戦B	男子実戦A 男子実戦B	男子実戦B/女子実戦 壮年実戦/団実 ※男子実戦Aは第一武道場 をご使用ください	男子実戦B 女子実戦 壮年実戦/団実	実戦競技参加者		
選手人数	最大53名	最大67名	最大52名	最大56名	最大56名	最大80名以下			

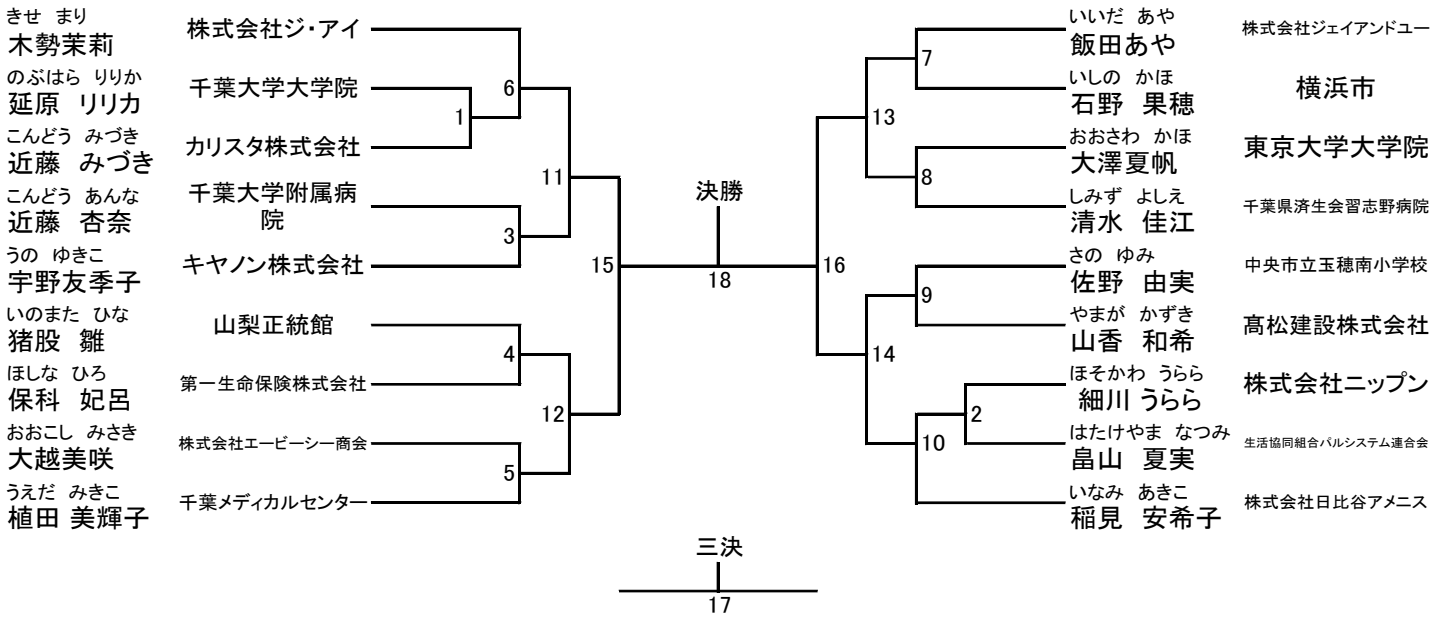
# 個人実戦競技(男子の部) 52人



優勝	第2位	第3位	第4位

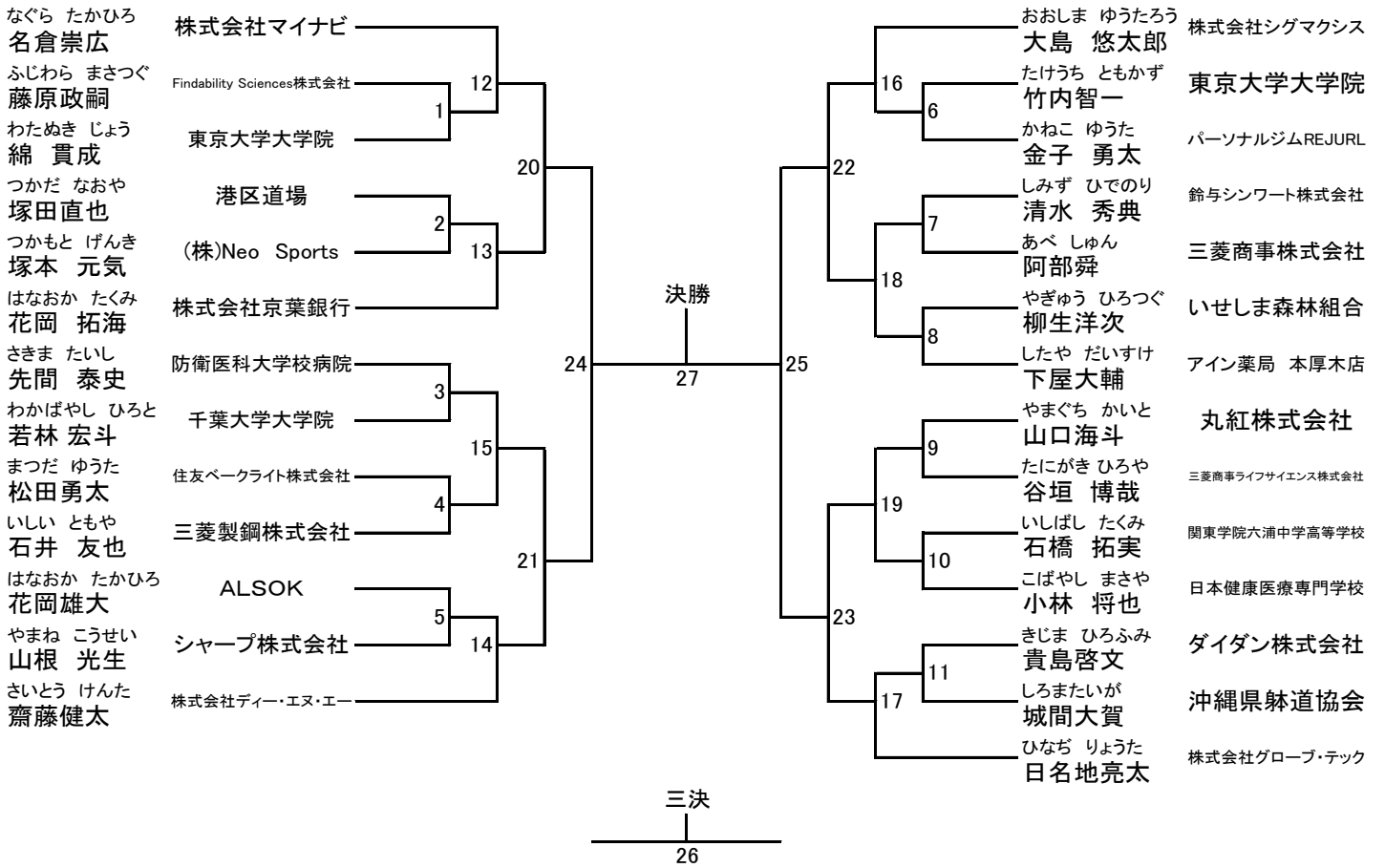


## 個人実戦競技(女子の部) 18人



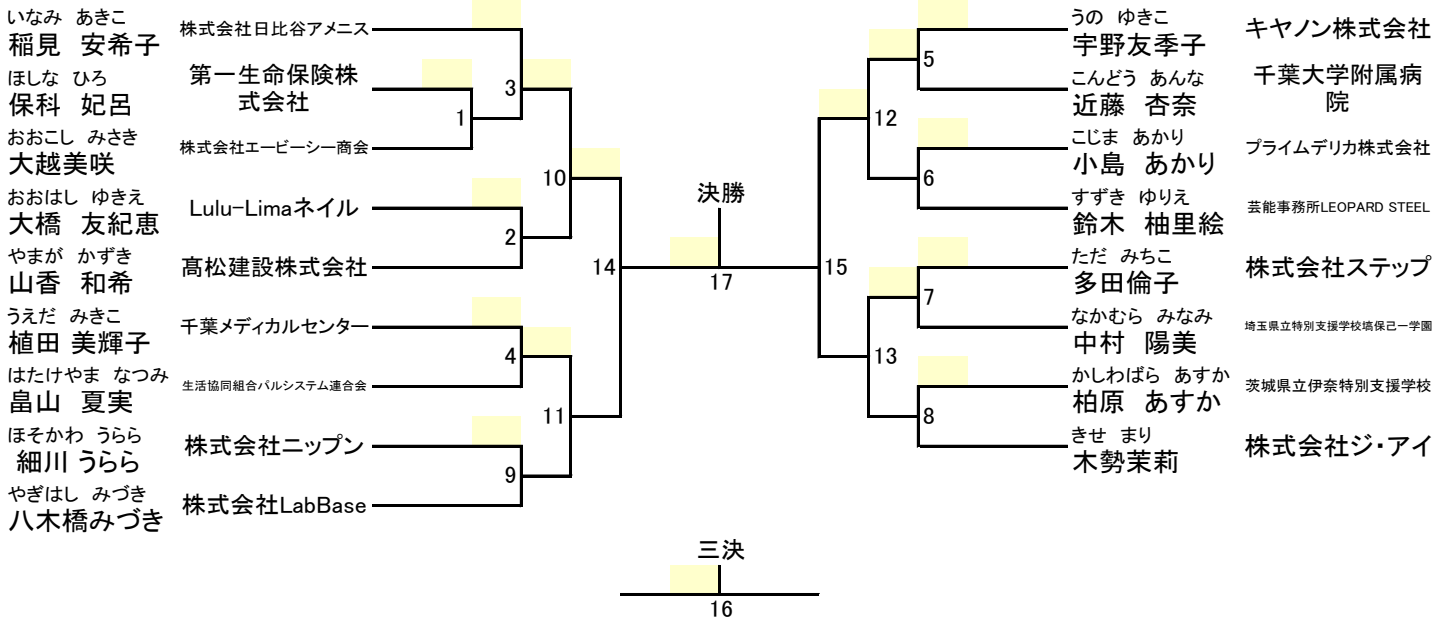
優勝	第2位	第3位	第4位

## 個人法形競技(男子の部) 27人



優勝	第2位	第3位	第4位

## 個人法形競技(女子の部) 17人



優勝	第2位	第3位	第4位



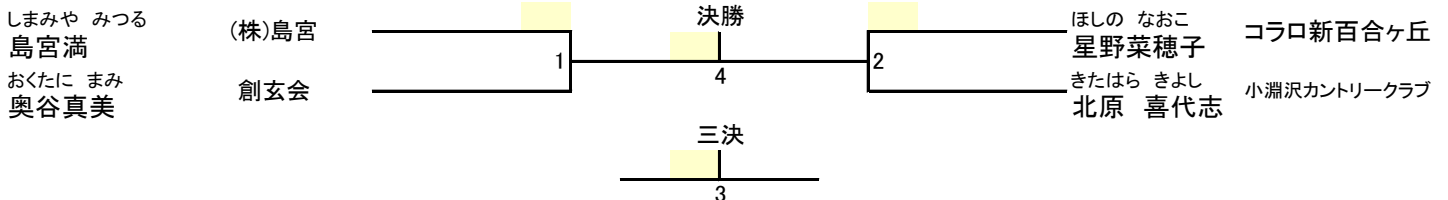
# 株式会社 日比谷アメニス

花や緑、環境を基軸としながら  
 快適な“人と空間との関わり”を  
 提言する事業を行っています

〒108-0073 東京都港区三田 4-7-27  
 TEL 03-3453-2401 FAX 03-3453-2426

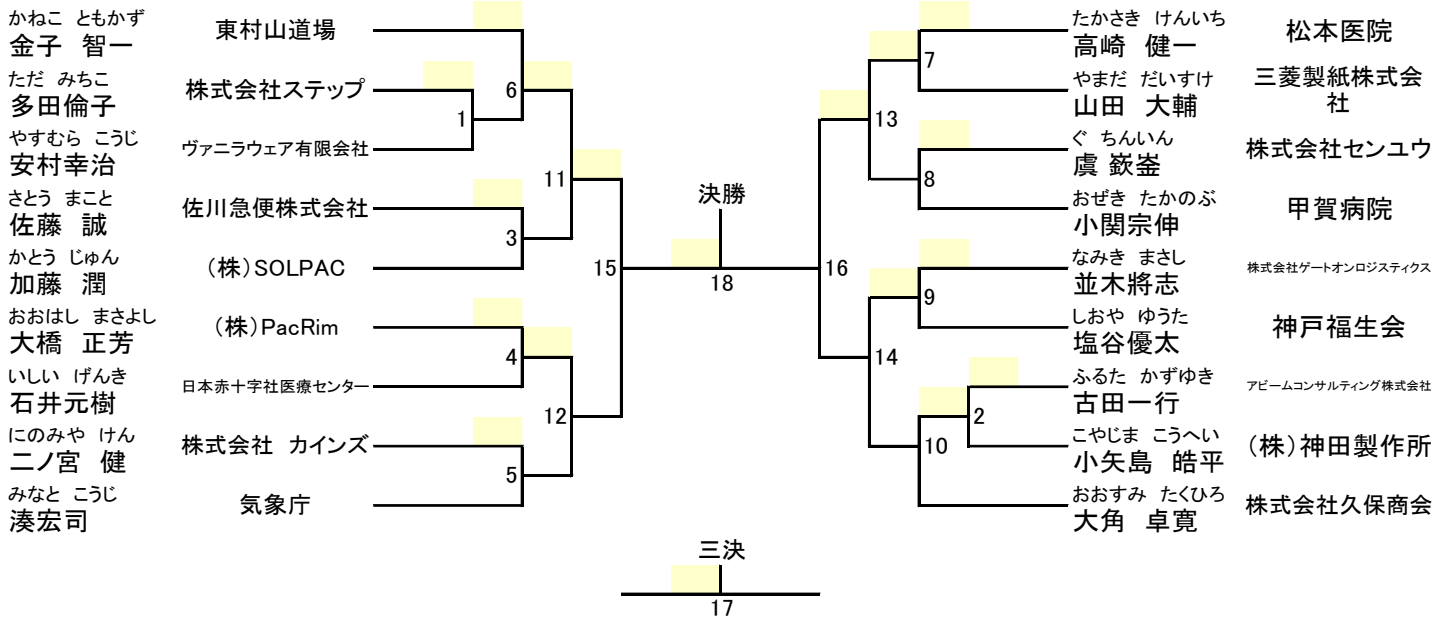
<https://www.amenis.co.jp/>  
<https://www.facebook.com/hibiyaamenis>

## 個人法形(命) 有段者の部 4人



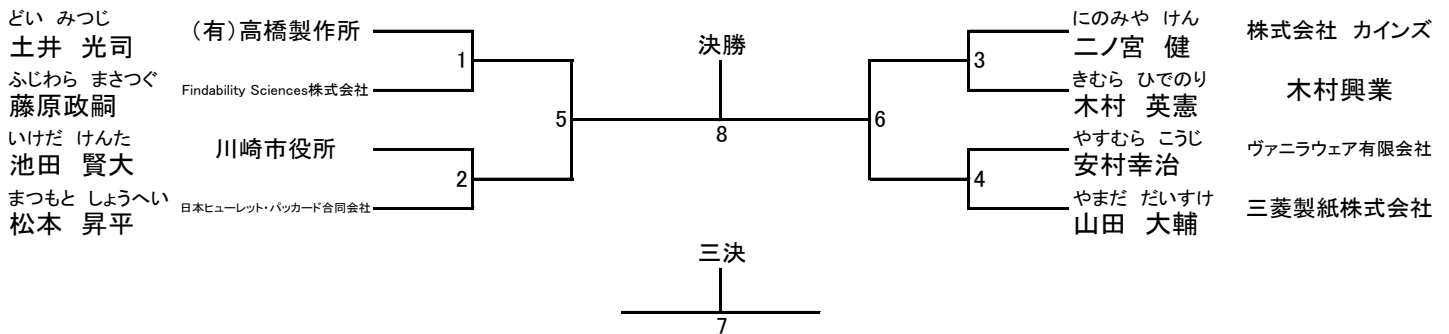
優勝	第2位	第3位	第4位

## 個人法形競技（制の法形） 18人



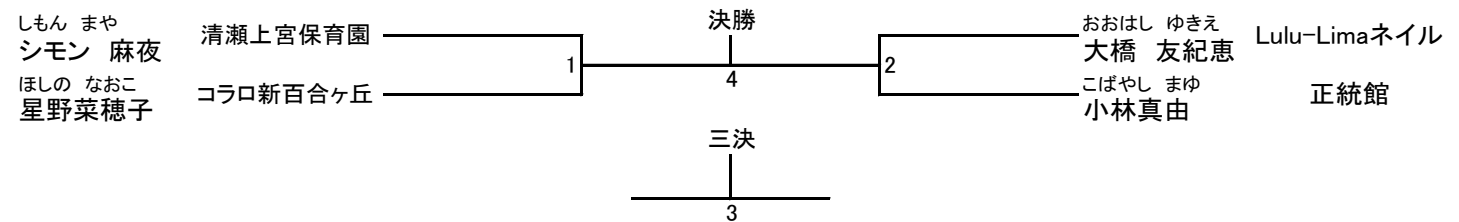
優勝	第2位	第3位	第4位

## 個人実戦競技（壮年の部） 男子 8人



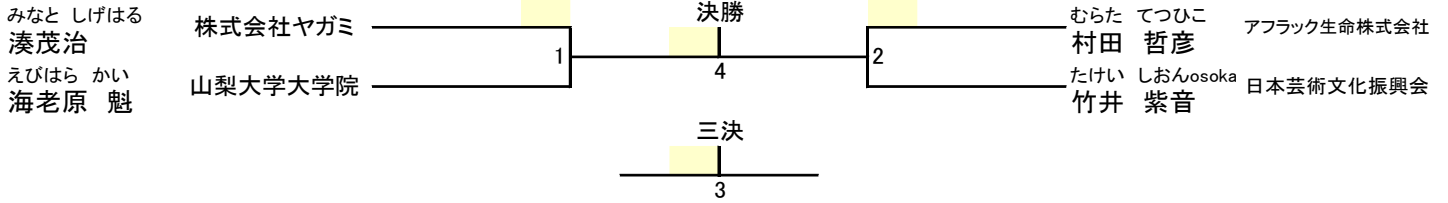
優勝	第2位	第3位	第4位

## 個人実戦競技（壮年の部） 女子 4人



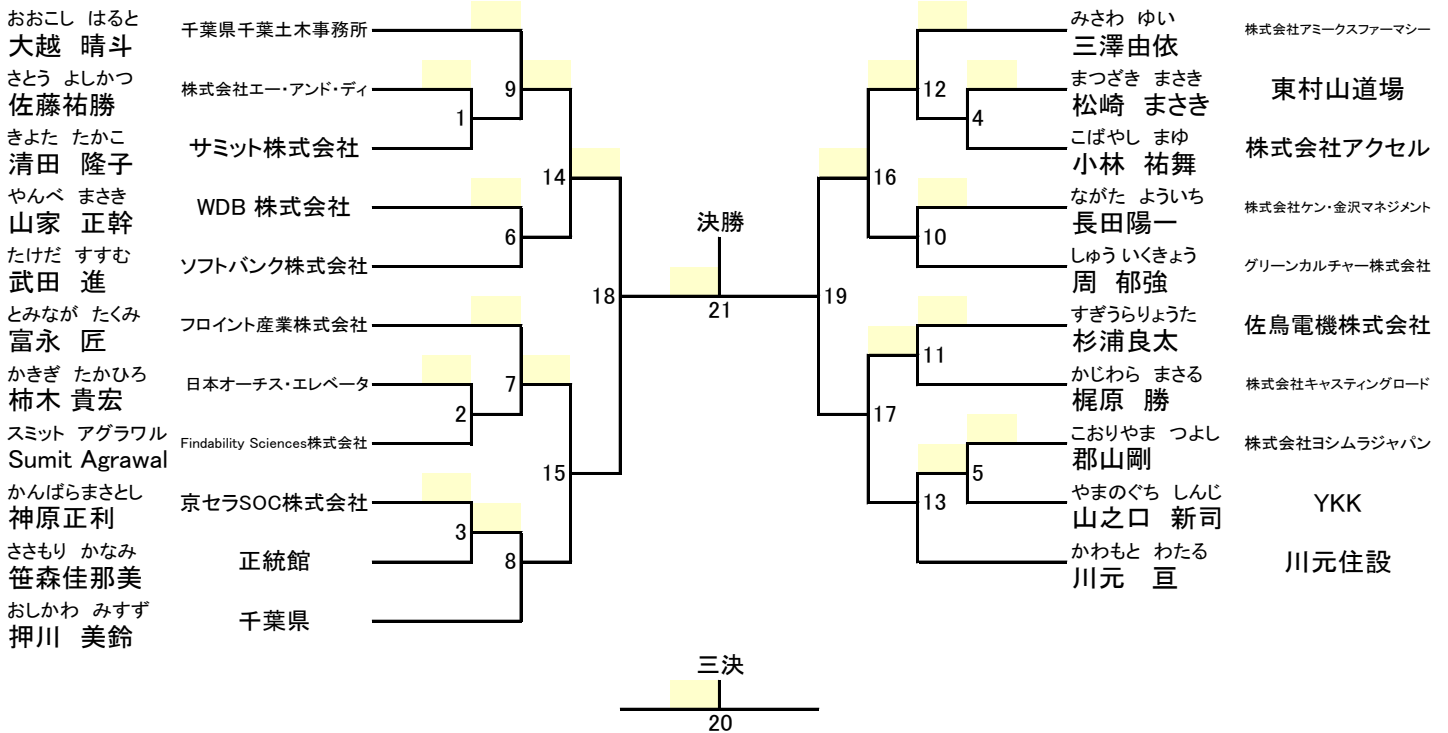
優勝	第2位	第3位	第4位

## 個人法形競技(級位の部) 4人



優勝	第2位	第3位	第4位

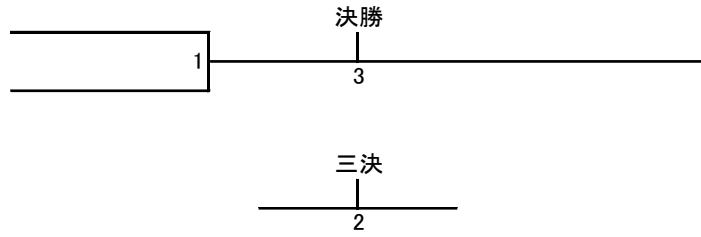
## 個人法形競技(新人の部) 21人



優勝	第2位	第3位	第4位

## 団体実戦競技(女子) 3チーム

東京城西地区  
己鍊館B



己鍊館A

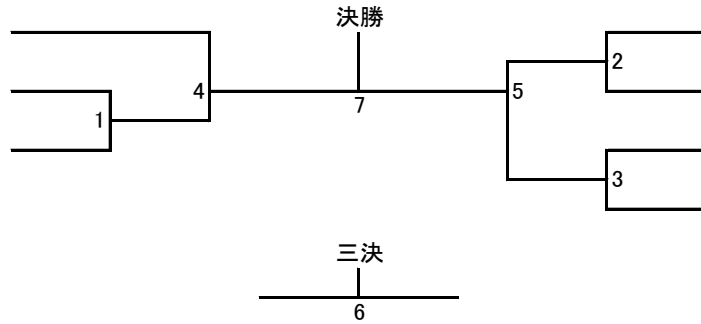
### 団体実戦メンバー表

チーム名	選手1	選手2	選手3	選手4	選手5	競技監督
東京城西地区	木勢茉莉	飯田あや	大越美咲	小林真由	星野菜穂子	
己鍊館A	植田 美輝子	稲見 安希子	近藤 杏奈	山香 和希	石野 果穂	五十嵐 美南
己鍊館B	細川 うらら	八木橋みづき	保科 妃呂	延原 リリカ	中村 陽美	

優勝	第2位	第3位	第4位

## 団体実戦競技(男子) 7チーム

創玄会  
東京城西地区  
己鍊館A



山梨正統館  
清武会  
己鍊館B  
東京多摩地区

### 団体実戦メンバー表

チーム名	選手1	選手2	選手3	選手4	選手5	競技監督
東京城西地区	藤原政嗣	並木將志	永井健太郎	貴島啓文	花岡雄大	
清武会	山田 大輔	加藤 潤	小矢島 皓平	池田 賢大	小林 雅宏	
山梨正統館	土井 嘉津也	坂本 稔	北原 喜代志	土井 光司	木村 英憲	
創玄会	良本真基	本田拓馬	高松大地	富松亮太	瀬上智也	
東京多摩地区	堀米 遼太	塚本 元気	小川 彪斗	持田 翔	金子 勇太	
己鍊館A	林 元	虞 欽崙	大島 悠太郎	三宅 孝太郎	高瀬 友哉	
己鍊館B	清水 秀典	日名地亮太	千倉 佳吾	山根 光生	若林 宏斗	

優勝	第2位	第3位	第4位

# 団体法形競技 5チーム

決勝							
No.	団体名	主審	副審	副審	場外減点	合計得点	順位
1	新潟県躰道協会						
2	創玄会						
3	己鍊館						
4	港区道場						
5	東村山市						

## 団体法形メンバー表

団体名	選手1	選手2	選手3	選手4	選手5	補欠
港区道場	下屋大輔	塚田直也	竹下楓	多田倫子	松本かずさ	小関宗伸
創玄会	名倉崇広	齋藤健太	阿部舜	藤田政徳	高松大地	
新潟県躰道協会	泉 智慶	木間 和也	泉 智慧	荒井 すみれ	高橋 華野	
東村山市	金子 智一	持田 翔	松崎 まさき	畠山 夏実	シモン 麻夜	近藤 みづき
己鍊館	八木橋みづき	柏原 あすか	小島 あかり	中村 陽美	細川 うらら	

優勝	2位	3位	4位

### 第31回全国社会人躰道優勝大会 出場者一覧(順不同)

所属地区	氏名	段級位	勤務先等	
北海道	1 湊宏司	四段	気象庁	
	2 泉 智慶	七段	慶誓寺	
新潟県	3 木間 和也	五段	株式会社 せいだ	
	4 泉 智慧	二段	慶誓寺	
	5 荒井 すみれ	二段	新潟伊勢丹	
	6 高橋 華野	二段	看護リハビリ新潟保健医療専門学校	
埼玉県	7 二ノ宮 健	五段	株式会社 カインズ	
	8 坂本巧	四段	川口市立在家小学校	
	9 富永 匠	無級	フロイント産業株式会社	
千葉県	10 先間 泰史	三段	防衛医科大学校病院	
	11 山田 大輔	四段	三菱製紙株式会社	
	12 加藤 潤	四段	(株) SOLPAC	
	13 小矢島 皓平	四段	(株) 神田製作所	
	14 池田 賢大	二段	川崎市役所	
	15 小林 雅宏	初段	福田刃物工業(株)	
	16 清田 隆子	五級	サミット株式会社	
	17 清水 秀典	四段	鈴与シンワート株式会社	
	18 林 元	四段	サイカパーキング株式会社	
	19 日名地亮太	四段	株式会社グローブ・テック	
	20 清水 佳江	参段	千葉県済生会習志野病院	
	21 盧 歆峯	二段	株式会社センユウ	
	22 植田 美輝子	二段	千葉メディカルセンター	
	23 稲見 安希子	二段	株式会社日比谷アメニス	
	24 壺井 達矢	二段	カネコ種苗株式会社	
	25 花岡 拓海	二段	株式会社京葉銀行	
	26 近藤 杏奈	初段	千葉大学附属病院	
	27 大島 悠太郎	二段	株式会社シグマクス	
	28 三宅 孝太郎	二段	株式会社DNPデジタルソリューションズ	
	29 千倉 佳吾	二段	日本マイクロソフト株式会社	
	30 高瀬 友哉	二段	ユニアデックス 株式会社	
	31 山香 和希	二段	高松建設株式会社	
	32 石野 果穂	二段	横浜市	
	33 石井 友也	二段	三菱製鋼株式会社	
	34 八木橋みづき	二段	株式会社LabBase	
	35 小林 将也	二段	日本健康医療専門学校	
	36 谷垣 博哉	二段	三菱商事ライフサイエンス株式会社	
	37 保科 妃呂	二段	第一生命保険株式会社	
	38 延原 リリカ	二段	千葉大学大学院	
	39 柏原 あすか	二段	茨城県立伊奈特別支援学校	
	40 山根 光生	二段	シャープ株式会社	
	41 若林 宏斗	二段	千葉大学大学院	
	42 綿 貫成	二段	東京大学大学院	
	43 小島 あかり	二段	プライムデリカ株式会社	
	44 中村 陽美	二段	埼玉県立特別支援学校塙保己一学園	
	45 細川 づらら	二段	株式会社ニッポン	
	46 川元 亘	五級	川元住設	
	47 大越 晴斗	五級	千葉県千葉土木事務所	
	48 小林 祐舞	六級	株式会社アクセル	
	49 押川 美鈴	六級	千葉県	
	50 梶原 勝	六級	株式会社キャスティングロード	
	51 山家 正幹	六級	WDB 株式会社	
	52 周 郁強	六級	グリーンカルチャー株式会社	
	53 柿木 貴宏	六級	日本オーチス・エレベータ	
	54 五十嵐 美南	二段	ツクイHD	
	東京城北	55 中嶋尚平	四段	TREホールディングス株式会社
	東京城東	56 島宮満	五段	(株)島宮
		57 大橋 正芳	五段	(株)PacRim
58 大橋 友紀恵		二段	Lulu-Limaネイル	
59 大角 卓寛		四段	株式会社久保商会	
60 村田 哲彦		無	アフラック生命株式会社	
61 山之口 新司		無	YKK	
62 鈴木 柚里絵		初段	芸能事務所LEOPARD STEEL	
東京城西	63 藤原政嗣	二段	Findability Sciences株式会社	
	64 Sumit Agrawal	五級	Findability Sciences株式会社	
	65 並木將志	六段	株式会社ゲートオンロジスティクス	
	66 長田陽一	無級	株式会社ケン・金沢マネジメント	
	67 永井健太郎	三段	明治大学	
	68 木勢茉莉	三段	株式会社ジ・アイ	

### 第31回全国社会人躰道優勝大会 出場者一覧(順不同)

東京城西	69	郡山剛	無級	株式会社ヨシムラジャパン
	70	貴島啓文	4段	ダイダン株式会社
	71	飯田あや	3段	株式会社ジェイアンドユー
	72	佐藤祐勝	無級	株式会社エー・アンド・ディ
	73	笹森佳那美	無級	正統館
	74	大越美咲	2段	株式会社エービーシー商会
	75	花岡雄大	3段	ALSOK
	76	三澤由依	5級	株式会社アミークスファーマシー
	77	小林真由	6段	正統館
	78	星野菜穂子	2段	コロロ新百合ヶ丘
東京城南	80	石井元樹	4段	日本赤十字社医療センター
	81	下屋大輔	3段	アイン薬局 本厚木店
	82	塚田直也	4段	港区道場
	83	竹下楓	3段	港区道場
	84	多田倫子	4段	株式会社ステップ
	85	松本かずさ	初段	みなみ野病院
	86	小関宗伸	5段	甲賀病院
	87	石橋 拓実	初段	関東学院六浦中学高等学校
	88	古田一行	5段	アビームコンサルティング株式会社
	89	宇野友季子	4段	キヤノン株式会社
	90	良本真基	4段	株式会社野村総合研究所
	91	本田拓馬	4段	三井物産株式会社
	92	名倉崇広	4段	株式会社マイナビ
	93	小松慎太郎	3段	鹿島建設株式会社
	94	齋藤健太	3段	株式会社ディー・エヌ・エー
	95	阿部舜	3段	三菱商事株式会社
	96	藤田政徳	3段	大日本印刷株式会社
	97	高松大地	3段	株式会社クニエ
	98	山口海斗	2段	丸紅株式会社
	99	竹内智一	2段	東京大学大学院
	100	大澤夏帆	2段	東京大学大学院
	101	富松亮太	2段	東日本電信電話株式会社
	102	瀬上智也	初段	東京大学大学院
	103	松田勇太	2段	住友ベークライト株式会社
104	奥谷真美	2段	創玄会	
東京多摩	105	金子 智一	6段	東村山道場
	106	堀米 遼太	5段	きくち整形外科
	107	塚本 元気	3段	(株)Neo Sports
	108	松本 昇平	4段	日本ヒューレット・パッカード合同会社
	109	小川 彪斗	初段	株式会社 関電工
	110	持田 翔	参段	猿天
	111	高崎 健一	4段	松本医院
	112	武田 進	無級	ソフトバンク株式会社
	113	松崎 まさき	無級	東村山道場
	114	畠山 夏実	初段	生活協同組合パルシステム連合会
	115	近藤 みつき	初段	カリスタ株式会社
	116	シモン 麻夜	4段	清瀬上宮保育園
	117	金子 勇太	参段	パーソナルジムREJURL
	118	竹井 紫音	3級	日本芸術文化振興会
神奈川県	119	杉浦良太	5級	佐島電機株式会社
	120	神原正利	6級	京セラSOC株式会社
山梨県	121	土井 嘉津也	4段	アスワンplus(株)
	122	坂本 稔	4段	だんだん会
	123	北原 喜代志	5段	小淵沢カントリークラブ
	124	土井 光司	6段	(有)高橋製作所
	125	木村 英憲	4段	木村興業
	126	佐野 由実	3段	中央市立玉穂南小学校
	127	猪股 雛	初段	山梨正統館
	128	海老原 魁	3級	山梨大学大学院
	129	良知 颯太	初段	山梨大学大学院
静岡県西部	130	佐藤 誠	3段	佐川急便株式会社
愛知県	131	油井陽	4段	ニュートリー株式会社
	132	佐々木秀彰	4段	株式会社セールスフォース・ジャパン
	133	湊茂治	2級	株式会社ヤガミ
大阪府	134	安村幸治	3段	ヴァニラウェア有限会社
	135	塩谷優太	3段	神戸福生会
沖縄県	136	城間大賀	2段	沖縄県躰道協会



## 第 31 回全国社会人躰道優勝大会要項

※新型コロナウイルス感染防止対策を十分に施して開催いたします。感染対策を網掛け表示しています。大会の感染症対策や大会進行については日本躰道協会のホームページに情報を更新してまいりますのでご注意ください。(現時点での感染症対策並びに大会進行について第 13 項に記載しています。)

1. 日時：令和 4 年 9 月 17 日(土曜日) 午前 9 時 20 分(予選開始)～午後 6 時(終了予定)
2. 会場：東京武道館 〒120-0005 東京都足立区綾瀬 3-20-1 TEL 03-5697-2111
3. 主催：特定非営利活動法人 日本躰道協会
4. 競技内容

		種目	構成	競技内容	出場資格
1	個人法形	新人の部	男女同一	旋体・旋陰の法形から選択	無級 6・5級
2	個人法形	級位の部	男女同一	体・陰の法形から自由選択	4～1級
3	個人法形	段位の部	男子	1.2 回戦：転体の法形 3 回戦以降：体の法形から自由選択	初段以上
4	個人法形	段位の部	女子	1.2 回戦：転陰の法形 3 回戦以降：陰の法形から自由選択	初段以上
5	個人法形 命	新人・級位の部	男女同一	1.2 回戦：勢命の法形(表のみ) 3 回戦以降：命の法形から自由選択(表裏)	無級～1級
6	個人法形 命	有段者の部	男女同一	1.2 回戦：勢命の法形(表のみ) 3 回戦以降：命の法形から自由選択(表裏)	初段以上
7	個人法形 制	段位の部	男女同一	天制・地制・仁制の法形から選択	初段以上
8	個人実戦	段位の部	男子	予選 1 分・三決決勝 1 分 30 秒	初段以上
9	個人実戦	段位の部	女子	予選 1 分・三決決勝 1 分 30 秒	初段以上
10	個人実戦	壮年の部 40 歳以上	男子	全試合 1 分	初段以上
11	個人実戦	壮年の部 40 歳以上	女子	全試合 1 分	初段以上
12	団体法形		1 チーム 5 名 男女混合可	躰道の法形から自由選択	段級位 問わず
13	団体実戦	段位の部	1 チーム 5 名 男子	全試合 1 分	初段以上
14	団体実戦	段位の部	1 チーム 5 名 女子	全試合 1 分	初段以上

# 全国社会人躰道優勝大会 栄光の記録(1)

回	順位	団体法形競技	法形競技	法形競技	命の法形競技	命の法形競技	命の法形競技	男子実戦競技	女子実戦競技	殊勲賞	敢闘賞	技能賞	審判長賞 特別賞	最高師範杯
			級位の部	段位の部	有資格者の部	段位の部	新人・級位の部	一般の部	一般の部					
第1回	優勝	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	池内和彦
第2回	優勝	-	清水 司	池内和彦	-	-	-	安部幸史郎	-	清水 司	後藤陽一	土井光司	松山仁志	池内和彦
	第2位	-	森 友彦	後藤陽一	-	-	-	土井光司	-	-	-	-	北原こちづ	
	第3位	-	齊間栄一	土井光司	-	-	-	鈴木 孝	-	-	-	-	-	
第3回	優勝	-	石井真由美	池内和彦	-	-	-	金野道程	-	-	-	-	-	池内和彦
	第2位	-	乙井仁美	田中勇悦	-	-	-	吉田 健	-	-	-	-	-	
	第3位	-	森 友彦	伊藤通恵	-	-	-	武原幸次	-	-	-	-	-	
第4回	優勝	山梨県	渡辺愛子	奥山安雪	-	-	-	田中勇悦	-	吉田 健	奥山安雪	池内和彦	-	田中勇悦
	第2位	宮城県A	木村孝允	田中勇悦	-	-	-	吉田 健	-	-	-	-	-	
	第3位	和歌山県	小畑友美	池内和彦	-	-	-	土井光司	-	-	-	-	-	
第5回	優勝	海南市役所	関場由美子	元嶋章三郎	-	-	-	安部幸史郎	手塚憲子	元嶋章三郎	後藤陽一	安部幸史郎	-	池内和彦
	第2位	山梨県	木村孝允	浜崎六三	-	-	-	後藤陽一	真野聖子	-	-	-	-	
	第3位	東京城西C	宇野正洋	池内和彦	-	-	-	ラース・ラム	鈴木康子	-	-	-	-	
第6回	優勝	山梨県	木村孝允	田中勇悦	元嶋章三郎	-	-	末正健司	鈴木康子	横山典子	河内藤江	鈴木康子	-	元嶋章三郎
	第2位	和歌山県	矢吉 守	飯島功仁	池内和彦	-	-	十河 剛	横山典子	-	-	-	-	
	第3位	東京城南	佐々木武範	河内藤江	山田重幸	-	-	後藤陽一	真野聖子	-	-	-	-	
第7回	優勝	山梨県	木村由美	毛利秀巳	刀禰伯彬	乙井仁美	橋本知幸	安部幸史郎	横山典子	毛利秀巳	中嶋紀代子	横山典子	-	安部幸史郎
	第2位	新潟県	佐々木武範	山田大介	石井 徹	中嶋紀代子	窪田勝彦	五十嵐慎	河内藤江	-	-	-	-	
	第3位	埼玉志木市	矢吉 守	横山典子	池内和彦	相田幸男	-	-	手塚憲子	-	-	-	-	
第8回	優勝	群馬県	高木靖夫	泉 智慶	安部幸史郎	相田幸男	窪田勝彦	金子智一	横山典子	安部幸史郎	横山典子	金子智一	-	泉 智慶
	第2位	新潟県	矢吉 守	横山典子	池内和彦	乙井仁美	増山房次	宮 靖二	亀里紀美子	-	-	-	-	
	第3位	北里大OB	遠藤友美	金子智一	山田重幸	西 雅宏	-	-	原 謙之	井上明美	-	-	-	
第9回	優勝	山梨県A	小林紀美江	飯島功仁	石井 徹	相田幸男	-	鈴木智行	横山典子	飯島功仁	泉 智慶	安部幸史郎	-	鈴木智行
	第2位	東京城南	杉浦寿久	泉 智慶	泉 智慶	木村孝允	-	安部幸史郎	舟瀬真由	-	-	-	-	
	第3位	山梨県B	梶 雄一	アルバル・H	山田重幸	西 雅宏	-	毛利秀巳	真野聖子	-	-	-	-	
第10回	優勝	山梨県	小林紀美江	北澤 秀明	高橋 忠美	-	高橋 忠美	小西 愛	金子 智一	星野万里子	星野万里子	福島 文仁	金子 智一	小西 愛
	第2位	東国大OB	杉原 寿久	飯島 功仁	浜崎 六三	-	浜崎 六三	荻野 真	福島 文仁	大塚 由貴	-	-	-	
	第3位	つくば市	仲澤 一晴	内山 仁志	山田 重幸	山田 重幸	山田 重幸	相田 幸男	木間 和也	横山 典子	-	-	-	
第11回	優勝	IHI田無	梶 雄一	横山 裕	北澤 秀明	-	高橋 忠美	西 雅宏	北澤 秀明	田畑 麻夜	田畑 麻夜	横山 裕	木間 一紀	北澤 秀明
	第2位	埼玉県	齋藤 充弘	小林紀美江	森 富和	-	福長 寛之	宮岡 福次	鈴木 智行	星野万里子	-	-	-	
	第3位	群馬県	高橋由里子	大塚 貴寛	石黒 勝俊	石黒 勝俊	泉 智慶	荻野 真	木間 一紀	永井 美佐	-	-	-	
第11回	優勝	山梨県	尾畑 光哉	尾畑 光哉	高橋 忠美	-	上保 正志	上保 正志	宮 靖二	横山 典子	-	-	-	
	第2位	山梨県	尾畑 光哉	尾畑 光哉	高橋 忠美	-	上保 正志	上保 正志	宮 靖二	横山 典子	-	-	-	
	第3位	山梨県	尾畑 光哉	尾畑 光哉	高橋 忠美	-	上保 正志	上保 正志	宮 靖二	横山 典子	-	-	-	

## 全国社会人躰道優勝大会 栄光の記録(2)

		団体法形競技	法形競技 新人の部	法形競技 級位の部	法形競技 段位の部		命の法形競技 有資格者の部	命の法形競技 一般の部	実戦競技 男子の部	実戦競技 女子の部	殊勲賞	敢闘賞	技能賞	最高師範杯
第12回	優勝 第2位 第3位 "	沖縄県 東京城南 東村山市	菊地 広実 坂本 和彦 杉本 隆 清水 圭子	小林紀美江 杉原 寿久 早房 照雄 高橋由里子	森 富和 木間 和也 北澤 秀明 田畑 麻夜		福長 寛之 高橋 忠美 十河 剛 田中 勇悦	西 雅宏 宮岡 福次	北澤 秀明 石黒 勝俊 木間 和也 末正 健司	田畑 麻夜 星野万里子 真野 聖子 真崎 弥生		森 富和	田畑 麻夜 石黒 勝俊	北澤 秀明
第13回	優勝 第2位 第3位	北里大OB 北里大OG 東京多摩B	近藤美穂 佐野朋美 小松邦子	菊池広実 仲澤 一晴 富田早苗	中野哲爾 田畑麻夜 真崎弥生		元嶋章三郎 西 雅宏 北出 春樹	那須静雄	大橋正芳 木間一紀 木間和也	田畑 麻夜 小松万里子 真野聖子	中野哲爾	近藤美穂	田畑 麻夜	大橋正芳
第14回	優勝 第2位 第3位	神奈川A TTS-BBC 東京城東	羽田野修甲 佐野朋美 小澤みゆき	坂本和彦 千葉広実 近藤美穂	中野哲爾 丹野喜美男 森 富和		刀禰伯彬 西 雅宏 高橋 忠美	杉本 隆 山田勝仁 森寺光江	松本昇平 石黒 勝俊 土井光司	小松万里子 田村 智 舟瀬真由	小松万里子	佐藤晶子	土井光司	中野哲爾
		団体法形	法形競技 新人の部	法形競技 級位の部	法形競技 男子段位の部	法形競技 女子段位の部	命の法形競技 有資格者の部	命の法形競技 新人・級位の部	実戦競技 男子の部	実戦競技 女子の部	殊勲賞	敢闘賞	技能賞	最高師範杯
第15回	優勝 第2位 第3位	己鍊館男組 ヨコハマツル かながわわりよく	伊藤静男 幸 里美 高橋夏子	佐野朋美 桐生尚之 小松邦子	中野哲爾 板山宜弘 土井光司	真崎弥生 小西 愛 吉田恵美	刀禰伯彬 浜崎六三 西 雅宏	森寺光江 山田勝仁	大橋正芳 北澤秀明 津田良仁	田村 智 舟瀬真由 川添雅子	真崎弥生	大橋正芳	田村 智	中野哲爾
第16回	優勝 第2位 第3位	TTS22段 かながわわりよく KAT-TUN2	滋野智美 大嶺和歌子 藤田怜美	神 聖 菅原智里 小松邦子	中野哲爾 土井光司 坂本 巧	佐藤晶子 松原翔子 田村 智	刀禰伯彬 浜崎六三 高橋 忠美	山田勝仁 志村 卓	坂本 稔 森 富和 丹野喜美男	田村 智 佐藤晶子 川添雅子	佐藤晶子	森 富和	中野哲爾	土井光司
第17回	優勝 第2位 第3位	ネギンシュニン TTSインストラクターズ'25段2007 かながわわりよく	横溝太一 西海正博 大嶺和歌子	森田太郎 羽田野修甲 小松邦子	中野哲爾 金子智一 坂本 巧	佐藤晶子 宮木絵里香 真崎弥生	刀禰伯彬 高橋 忠美 浜崎六三	山田勝仁 宮本靖弘	金子 智一 佐藤将人 堀米遼太	知識美奈 市原 智 中村愛美	知識美奈	/	金子智一 佐藤晶子	中野哲爾
第18回	優勝 第2位 第3位	TTS27段2008 かながわわりよく マックネギシ	杉村和之 北見 学 田中寛明	滋野智美 大井 栞 ジェイソン	中野哲爾 宮下宏紀 金子智一	真崎弥生 平山愛子 佐藤晶子	刀禰伯彬 浅岡 宏 Andy.F	宮本靖弘 駒澤峰子 市川 直	金子 智一 丹野喜美男 堀米遼太	千葉広実 山際真穂 市原 智	千葉広実	真崎弥生	中野哲爾	金子智一
第19回	優勝 第2位 第3位	群馬からこんにちはがんばれん 新潟県 ブータローネギシ	新城義将 伊勢谷信彦 渡辺幾子	ゲンホンチュエン 中島香 横溝方一	中野哲爾 金子智一 清水秀典	有賀倫子 大里佳江 江川京子	芝波田邦博 高橋 忠美 石川健次	宮本靖弘 駒澤峰子 勝又敬司	木間和也 丹野喜美男 林 元	知識美奈 山際真穂 大里佳江	丹野喜美男	芝波田邦博	中野哲爾	木間和也
第20回	優勝 第2位 第3位	公務員目指して 飲み会誘って チーム超捻転	本間 織絵 新 理恵 後藤 有美	ゲンホンチュ 杉村 和之 奥谷 真美	岩間 桂信 坂本 邦彦 金子 智一	瀬藤 有希 平山 愛子 大里 佳江	芝波田邦博 高橋 忠美 島宮 満	奥谷 真美 勝又 敬司 駒澤 峰子	丹野喜美男 板山 宜弘 千葉 健志	千葉 広美 新島 朋美 橋本 朋絵	岩間 桂信	丹野喜美男	千葉 健志	芝波田邦博

## 全国社会人躰道優勝大会 栄光の記録(3)

回	順位	団体法形	法形競技	法形競技	法形競技	法形競技	命の法形競技	命の法形競技	制の法形	自由法形	団体実戦	団体実戦	実戦競技	実戦競技	実戦競技	殊勲賞	敢闘賞	技能賞	最高師範杯
			新人の部	級位の部	男子段位の部	女子段位の部	有段者の部	新人・級位の部	男子の部	女子の部	男子の部	女子の部	壮年の部						
21	優勝 第2位 第3位	新潟県チーム 湯島道場チーム 徳島の星!!	高野 佳子 伊勢谷 信彦 渡辺 万里子	ゲンホンチ 杉村 和之 奥谷 真美	中野 哲爾 金子 智一 油井 陽	平山 愛子 瀬藤 有希 江川 京子	芝波田邦博 島宮 満 刀禰伯彬	長尾 はな子 奥谷 真美 渡邊 万里子	小林 大輔 島崎 稔 泉 智慶				坂本 邦彦 堀米 遼太 金子 智一	瀬藤 有希 横山 典子 千葉 広美		平山 愛子 堀米 遼大	坂本 邦彦 瀬藤 有希		
22	優勝 第2位 第3位	創玄会2012 湯島道場 横浜道場	高野 佳子 西田 幸代 George Chalkidis	新城 義将 奥谷 真美 後藤 有美	中野 哲爾 金子 智一 宮下 宏紀	瀬藤 有希 平山 愛子 清水 佳江	島宮 満 荒井 和美 小林 真由	奥谷 真美 井口 のぞみ 長尾 はな子	堀米 遼太 芝波田邦博 並木 将志				金子 智一 土井嘉津也 油井 陽	横山 典子 土井 安奈 佐藤 晶子	島宮 満 田端 学 木村 英憲	横山 典子 島宮 満	島宮 満 中野 哲爾	金子 智一	
23	優勝 第2位 第3位	多摩立ちぬ 北里38代 TD43チーム	兒玉 恵理子 柳沢 啓 風岡 史乃	George Chalkidis 後藤 有美 一色 規至	中野 哲爾 坂本 邦彦 佐々木秀彰	瀬藤 有希 清水 佳江 石川雅左江	石川 健次 島宮 満 芝波田邦博	山路祐美子 長尾 はな子 武谷貴理子	堀米 遼太 金子 智一 並木 将志		己鍊館チーム 山梨正統館チーム 横浜道場チーム		良本 真基 林 元 木間 一紀	山際 真穂 横山 典子 金澤 美奈	土井 光司 石川 健次 島宮 満	良本 真基 山際 真穂	山際 真穂 瀬藤 有希	瀬藤 有希 中野 哲爾	中野 哲爾
24	優勝 第2位 第3位	創玄会2014 野人と愉快な仲間 多田氏結婚おめで	櫻岡 育 三原 幸 植竹 隼也	George Chalkidis 佐藤 誠 大工原みゆき	中野 哲爾 宮下 宏紀 嶋本幸之助	瀬藤 有希 清水 佳江 中嶋 晶子	島宮 満 刀禰 伯彬 芝波田邦博	原口久美子 山路祐美子 新川 浩之	金子 智一 堀米 遼太 小林 大輔		山梨県チーム 創玄会チーム 横浜道場チーム		堀米 遼太 金子 智一 土井嘉津也	山際 真穂 飯田 あや 中嶋 晶子	田部 英知 木村 英憲 島宮 満	山際 真穂 瀬藤 有希	瀬藤 有希 中野 哲爾	中野 哲爾	島宮 満
25	優勝 第2位 第3位	品格の浜町 創玄会2015 正統館	寶川有華 星野菜穂子 川俣貴弘	佐藤 誠 大工原みゆき 佐藤直子	中野 哲爾 坂本邦彦 佐々木秀彰	瀬藤 有希 平山愛子 萩野真智子	田部英知 島宮 満 芝波田邦博	佐藤 誠 新川 浩之 山路祐美子	堀米 遼太 金子 智一 油井 陽	中嶋 晶子 茂野 元博 丹野喜美男	己鍊館チーム 愛知県チーム 山梨県チーム		金子 智一 坂本 稔 佐々木拓真	山際 真穂 奥山みなみ 清水よしえ	土井光司 島宮 満 千葉健志	瀬藤 有希 佐藤 誠	土井光司 金子 智一	金子 智一	
26	優勝 第2位 第3位	品格の浜町 多摩の名は。 チーム東京多摩でつながる絆	星野菜穂子 藤原政嗣 成島富美子	大工原みゆき 風岡史乃 櫻岡 育	嶋本幸之助 上原弘之 宮下 宏紀	瀬藤 有希 平山愛子 奥山みなみ	刀禰 伯彬 芝波田邦博 荒井 和美	山路祐美子 櫻岡 育 風岡史乃	金子 智一 内山仁志 北澤秀明	内山 仁志 丹野喜美男 小関 宗伸	チーム己鍊館 チーム創玄会 愛知県チーム		金子 智一 佐々木拓真 土井嘉津也	瀬藤 有希 山際 真穂 市原 智	千葉 健志 土井光司 二ノ宮健	金子 智一 内山 仁志	内山 仁志 瀬藤 有希	瀬藤 有希 千葉 健志	千葉 健志
27	優勝 第2位 第3位	品格の浜町 多摩の名は。 チーム東京多摩でつながる絆	大橋友紀恵 亀井 良	町田啓允 近藤みづき 榎本 至	名倉崇広 嶋本幸之助 上原弘之	瀬藤 有希 稲見安希子 飯田桜子	田部英知 土井光司 芝波田邦博	風岡史乃 榎本 至 谷口嘉直	北村幸則 金子智一 堀米遼太	小関宗伸 花岡拓海 鈴木智行	愛知県チーム 山梨正統館 創玄会		油井 陽 本田拓馬 佐々木拓真	稲見安希子 山際真穂 飯田桜子	二ノ宮健 千葉健志 土井光司	二ノ宮健 土井光司	土井光司 稲見安希子	稲見安希子 山際真穂	山際真穂
28	優勝 第2位 第3位	創玄会 正統館 east village mountain	大橋友紀恵 長縄 裕太 山口 千鶴	町田 啓允 星野 菜穂子 風岡 史乃	上原 弘之 名倉 崇広 齋藤 健太	稲見 安希子 瀬藤 有希 飯田 桜子	土井 光司 島宮 満 荒井 和美	星野 菜穂子 榎本 至 風岡 史乃	金子 智一 堀米 遼太 油井 陽		創玄会 北里舞踏団 横浜道場withO	祝☆市原家応援隊 チーム緑~ENISHI~ 関東婦人会	金子 智一 佐々木 秀彰 油井 陽	山際真穂 植田 美輝子 平山 愛子	島宮 満 土井光司 二ノ宮健	金子 智一 稲見 安希子	上原 弘之	土井光司	
29	優勝 第2位 第3位	東京多摩 埼玉県 浜町道場	佐藤春馬 湊 茂治 小田圭介	星野 菜穂子 藤原政嗣 土志田愛	上原 弘之 齋藤 健太 嶋本幸之助	稲見 安希子 瀬藤 有希 平山 愛子	土井 光司 島宮 満 北原喜代志	星野 菜穂子 谷口嘉直 高崎健一	金子 智一 湊 宏司 高崎健一		福岡道場 創玄会 東京多摩	己鍊館 東京城西	湊 宏司 金子 智一 土井嘉津也	田畑麻夜 植田 美輝子 稲見安希子	土井光司 山田大輔 中谷靖	土井光司	稲見 安希子	金子 智一	湊 宏司 上原 弘之
30	優勝 第2位 第3位		大越 晴斗 川元 亘 藤本 武道	大橋 友紀恵 生井 麻結	名倉 崇広 浦島 啓 日名地 亮太	稲見 安希子 木勢 茉莉 山際 真穂	小林 真由 星野 菜穂子 北原 喜代志	金子 智一 堀米 遼太 大角 卓寛		己鍊館A 己鍊館B 創玄会	城西&城南 己鍊館	金子 智一 堀米 遼太 坂本 稔	山際 真穂 木勢 茉莉 稲見 安希子		山際 真穂	稲見 安希子	名倉 崇広	金子 智一	

## 【注意事項】

- ※1 壮年：40 歳以上とは、大会当日時点で満 40 歳以上とする。
- ※2 個人実戦競技への出場は 1 種目までとし、段位の部・壮年の両方への参加は不可といたします。
- ※3 団体実戦：選手 5 名競技監督 1 名でチーム編成をしてください。
- ※4 団体競技：申込チーム数が 8 チームを超える場合、実行委員会で抽選を行います。
- ※5 団体競技の選手構成：県地区複数にまたがないこととし、同一地区での構成としてください。
- ※6 団体競技のチーム名：申込書に選手をまとめてチーム名を記載してください。  
チーム名は地区又は道場名であることを原則に 8 文字以内とします。
- ※7 競技実施の中止：申込人数・チーム数が 1 人または 1 チームの場合競技を中止いたします。
- ※8 会場に入場制限がかけられているため、やむを得ず競技の未実施や競技ごとの出場人数制限を設ける可能性がございます。ご理解ご協力の程よろしくお願いいたします。

5. 出場資格：日本躰道協会に登録されている者で、「一般会員」は令和 4 年 6 月迄の協会費、「正会員」は令和 4 年度の正会員費が支払済みで、大会時に出場費が支払われている者。

会員は最低 3 カ月間の在籍とし、令和 4 年 4 月から登録されていること。

下記第 13 項にある 2 週間前対応実施の方のみ出場ならびに入館可能です。

6. 出場制限：個人種目の出場は 1 人 2 種目までとし、団体実戦もしくは団体法形に出場する場合は 3 種目まで認めます。
7. 大会出場費：1 種目のみ申込 5,000 円/人 2 種目以上申込 6,000 円/人（保険料込み）  
※申込後の欠場や変更等で種目数が減った場合、大会出場費の返却はいたしません。  
※補欠の申し込みは出場種目数にカウントいたしません。
8. 申し込み：県・地区躰道協会ごとの所属団体で申込とし、団体責任者が必要事項を明記し、必ず出場費を添えて、令和 4 年 8 月 10 日（水）までに必着でお申し込みください。  
極力、メール添付のエクセル表でお申し込みお願いいたします。
9. 集合時間：コロナ感染対策のため入場制限があり、後日発表するスケジュールをご確認ください。
10. その他

- ① 全ての選手は所属地区、所属協会が明確であり、正会員は令和 4 年度分まで継続的に支払われていること。一般会員は今年度の 6 月分まで会費を納金されていること。
- ② 日本躰道協会公認の躰道着を着用すること。躰道着の背面に所定のゼッケン以外のものを付けたり、左胸上の躰道の文字位置に他のものを付けたり、袖口を短く切った場合は出場を認めない。
- ③ 出場選手は大会当日、「健康保険証」を持参すること。
- ④ 実戦競技では胴プロテクターを着用すること。顔面プロテクターは男女共に着用を選択できます。
- ⑤ 団体実戦の競技監督者を申込書に記載し、当日の服装はスーツ着用のこと。（襟付きシャツを着用とし、スーツ上着の着用はこだわりません）
- ⑥ 団体種目での補欠制度を適応します。

詳しくは平成 26 年 9 月 5 日の【棄権・ドクターストップ・補欠制度等に関する通知書】をご覧ください。URL：[http://taido.gr.jp/competition/alljp/info\\_alljp51.html](http://taido.gr.jp/competition/alljp/info_alljp51.html)

- ⑦ 宿泊希望者は、各自で予約して下さい。《参考》ホテルパインヒル綾瀬 TEL 03-3690-4131

## ⑧ 本大会参加の個人情報および肖像権に関わる取り扱いについて

## ○参加申し込みに記載された個人情報について

大会プログラムへの掲載

競技会場内外の試合結果などへの掲示及び選手紹介、アナウンス

ホームページなどへの試合組み合わせや結果の表示

大会結果を掲示するための広報への情報提供

## ○競技記録の取り扱いについて

大会の結果は協会ホームページや広報（公の機関を含む）などで公開

大会記録として保管され、記録をして上位入賞者はパンフレットなどへ掲載

## ○肖像権の取り扱いについて

協会が認めた撮影者がとった大会の写真やコメントなどは協会ホームページや

広報（公の機関やポスター、小冊子などを含む）などで公開

※日本躰道協会及び大会実行委員会は取得した個人情報を上の使用目的以外に使用することはありません。また、試合の参加申込書の提出により、上の取り扱いに関するご承諾を得たものとしてさせていただきます。

## ⑨ 大会出場に当たって、選手の勤務先名をアピール出来るゼッケンを躰道着の背中に付けてください。ゼッケンの内容は自由制作ですが、大きさはB 5 版の横長とします。

※ゼッケンには勤め先名と本人の氏名を明記ください。

## 11.振込先（大会出場費）

・銀行振込 ゆうちょ銀行 019（ゼロイチキョウ）店 当座0040646  
 特定非営利活動法人 日本躰道協会

## 12.申し込み・問い合わせ先

〒164-0011 東京都中野区中央5-38-13 エスエス10 A702

TEL 03-5342-2322 FAX 03-5342-2321

e-mail: [office@taido.gr.jp](mailto:office@taido.gr.jp)

## 13.コロナウイルス感染対策について

\* 「東京武道館 スポーツイベント開催・実施時の感染防止策チェックリスト」を基本として記載。

大会は次の新型コロナウイルス感染防止対策を講じて大会開催いたします。

大会参加人数によりスケジュール等詳細を変更いたします。最新の情報は日本躰道協会ホームページをご確認ください。現時点の感染状況から対策になります。

**選手感染対策**

日時	内容
大会 2 週間前 9/3～	体温チェックをし、団体責任者へ報告
9/15 まで	団体申込責任者が参加者全員の体調管理を報告（Google Form 入力）
大会当日	出場種目の実施のある時間枠のみ入退場。 館内の総人数を武道館側も実行員会側も把握する必要があり、入退場の制

	<p>限があります。諸事情でどうしても入退場が必要な場合は役員に申し出てください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・直近 2 週間の渡航制限国の渡航歴もしくは、感染者との濃厚接触者も入館をお断りいたします。</li> </ul> <p>(厚生労働省 基礎疾患基準  <a href="https://www.cov19-vaccine.mhlw.go.jp/qa/pdf/0034_1.pdf">https://www.cov19-vaccine.mhlw.go.jp/qa/pdf/0034_1.pdf</a>)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・飛び込み入館は不可</li> </ul>
入館時	<p>武道館入り口前にて下記のチェックを行います。</p> <p>(入館前の集合については事前のお知らせいたします。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体温チェック (非接触体温計で測定)</li> <li>・手指先消毒</li> <li>・マスク着用 (館内常時マスク着用のこと)</li> <li>・道着着用で入館のこと (更衣室限定のため)</li> </ul>
更衣室	<p>一般更衣室使用禁止</p> <p>男性更衣室として 1F 第一武道場 (畳) 正面右側の和室 (入室 4 名まで)</p> <p>女性更衣室として 1F 第一武道場 (畳) 中 2 階観客席横の和室 (入室 4 名まで)</p>
競技中	<p>1F 第一武道場 (畳) と 3F 第二武道場 (板の間) の人数制限 (80 名) があります。午前は該当競技出場者のみ当該武道場へ入室可。</p> <p>午後は第二武道場を待機場所として使用。</p> <p>競技・待機場所が決められています。</p> <p>係員の誘導で移動をお願いします。</p> <p>第一武道場 (畳) と第二武道場 (板の間) 内への自由な行き来は禁止 (トイレへの出入りは可)</p>
試合待機中	<p>選手控えや試合観戦時は密を避けるため各自 1m (半畳) 間隔を開けること。</p> <p>応援は声援禁止、拍手で行うこと</p> <p>観客席は禁止座席には着座しないこと</p>
競技中	<p>常時マスク着用のこと</p> <p>(個人実戦予選 1 分、三決決勝 1 分半、団体実戦全試合 1 分)</p> <p>気合の発声で大声を発しないこと (審判は発声の評価は行いません。)</p> <p>礼法での発声は行わないこと</p> <p>次試合の控え場所、次々試合の控え場所に選手は自主的に待機のこと</p> <p>選手呼び出しがないため、試合前にゼッケンを審判並びにコート係に見せること</p> <p>対戦後の握手は行わないこと</p> <p>試合終了時に手指先消毒実施のこと</p> <p>赤帯の使いまわしを避けるため、赤テープを胴部に着用のこと</p>
昼食・飲食	<p>第一武道場 (畳) ・第二武道場 (板の間) 内は飲食禁止</p>

	<p>昼食や飲食は 1F 通路内のこと</p> <p>飲食等でマスクを外した際の私語は厳禁とします。</p> <p>密にならないように各自間隔を開けること</p> <p>熱中症予防のため、こまめな水分補給に努めること</p>
退館	出場種目のない選手は出場種目の終了後、退館ください。
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・面ピット、胴プロテクターは個人持ちとし、共有を避けること</li> <li>・マスクの種類は指定なし。フェイスシールド使用は禁止。</li> <li>・予備のマスクをお持ちください。適宜交換や、実戦で破れる恐れあり</li> <li>・トイレ利用時、こまめな手洗い、うがい等の際に使用するタオルはご自身でご用意ください。</li> <li>・ワクチン接種者も、変異株の観点から PCR 検査は実施願います。</li> <li>・大会中に発熱や体調を崩した場合、速やかに役員に申し出てください。</li> <li>・大会後 2 週間以内に新型コロナウイルス感染の疑いのある症状が出ましたら速やかに日本躰道協会に申し出てください。</li> </ul>

下記は上記表の詳しい内容です。

#### ■2 週間前対応

- ・来場者の決定を行います。
- ・来場者（選手・役員・審判）の大会 2 週間前 9 月 3 日（土）から体温チェックを行ってください。
- ・来場者全員の名簿（氏名・連絡先）を作成します。

#### ■入館時対応

- ・上記の 2 週間前対応を遵守した者のみ入館を許可いたします。
- ・大会スケジュールを競技ごとに分割し、一度に入館できる人数を制限し実施いたします。  
（参加人数でスケジュールを変更いたします。詳しくは 9 月初頭発表予定の大会競技スケジュール表ご確認ください。）
- ・入館可能人数には制限があり、入館は選手並びに審判、役員のみとさせていただき、無観客での大会実施といたします。
- ・入退館の際には、入館者の人数把握を武道館側と実行委員会側でチェックいたします。密を避け、係員の指示に従って入館ください。
- ・飛び込み入館は不可とします。
- ・入館時に来場者リストの照合、体温チェックをいたします。また、手指先のアルコール消毒を実施してください。体温 37.5℃以上もしくは体調不良の場合や、直近 2 週間の渡航歴もしくは感染者との濃厚接触者も入館をお断りいたします。
- ・基本道着着用で入退館をお願いいたします。東京武道館側の規定で一般の更衣室は使用できなく、第一武道場（畳）の正面和室（男子）、中二階和室（女子）を更衣室として使用ください。



い。密を避けるため和室に入室できる人数を限らせていただきます。

- ・選手、審判、役員全員入館中はマスクを常時着用ください。

#### ■会場対応

- ・1階第一武道場（畳）と3階第二武道場（板の間）それぞれに80名の人数制限があり、出場選手ならびに待機選手の居場所が決まっています。競技の進行で出場選手の誘導を役員が行いますので、それに従うようにしてください。試合観戦や応援のために居場所の移動は控えてください。
- ・選手控えならびに試合観戦時は密状態を避けるため、1m（半畳）の間隔を取るようになっています。（観客席等は禁止場所を避けて間隔を空けて着席願います。）
- ・応援は声援を禁止し、拍手のみで行ってください。

#### ■競技進行

- ・例年行われている開会式は簡易的なものにいたします。
- ・閉会式は行わず、競技ごと予選から決勝まで実施し、コート内で審判よりメダル授与を行います。賞状は後日郵送いたします。
- ・最高師範杯ならびに三賞は大会ホームページにて発表し、賞状とトロフィーは後日郵送いたします。
- ・全競技中も常にマスク着用といたします。  
競技中もマスク着用のため実戦競技時間を短縮いたします。  
個人実戦予選 1分・3 決決勝 1分 30 秒（予選での延長戦は行いません。）  
団体実戦すべて 1分
- ・各コートの結果は、競技終了後すみやかに会場内にアナウンスを行います。
- ・会場内での試合結果の掲示は三蜜を避けるために行いません。ネット内でご確認ください。

#### ■競技中

- ・すべての競技において、気合の発声で大きな声を控えてください。  
（審判員は気合についての評価は行いません。）
- ・コートごとに手指先の消毒液を設置します。試合終了ごとにご使用ください。
- ・選手係の選手呼び出しは行いません。次試合、次々試合の選手待機場所を設けますので、そこに該当する選手は待機するようお願いいたします。選手係が案内いたします。
- ・選手係による選手呼び出しの代わりに選手の確認方法として、所属企業名と氏名を記載したゼッケンを試合開始の立礼前に審判・役員に見せるようお願いいたします。
- ・礼法で発声しないようにしてください。
- ・対戦後の握手は行わないようにしてください。
- ・赤帯の使いまわしを避けるため、使い捨てできる赤テープを着用ください。（予定）

#### ■審判対応

- ・審判は常時マスク着用いたします。

- ・試合のホイッスルは電子ホイッスルを使用します。
- ・電子ホイッスルや判定の旗は個人使用とし、審判同士の共有はしないようにします。

■退館時対応

- ・出場種目のない選手は、館内の人数制限のために競技終了時に必ず退館ください。それ以外で退館しなければならない方は必ず役員と武道館側に退館する旨をお伝えください。館内の人数管理のためにご協力ください。

■館内の昼食・飲食

- ・館内の昼食と飲食は1階の通路内で可能です。(武道場内は飲食禁止)
- ・飲食の際は、マスクを外した私語は厳禁といたします。
- ・昼食中に密にならないように各自間隔を開けてください。
- ・館内エアコンが入っていますが、競技もマスク着用で熱中症のおそれがあり、こまめな水分補給を各自行ってください。

■その他

- ・実戦時の面ピット、胴プロテクターは個人持ちとし、共有を避けてください。
  - ・マスクの種類は指定を行いません。但し、フェイスシールド使用は禁止致します。
  - ・マスクは必要に応じて適宜交換し、実戦で破れる恐れがあるため予備を持参してください。
  - ・ワクチン接種者であっても、変異株の観点からPCR検査は実施していただきます。
  - ・大会中に発熱や体調を崩した場合、速やかに役員に申し出てください。
  - ・大会後2週間以内に新型コロナウイルス感染の疑いのある症状がでましたら速やかに日本躰道協会にご連絡ください。
- \*新型コロナ感染状況により対応内容に変更が生じる可能性があることご了承ください。

以上

実行委員長 小林大輔

2022年9月

各位

第31回全国社会人躰道優勝大会  
実行委員長 小林大輔

第31回全国社会人躰道優勝大会  
新型コロナ対策ご協力のお願い(Ver.3)

謹啓 時下益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また平素は運営にご理解とご協力を頂き感謝いたしております。

この度当日の集合時間、新型コロナ感染防止対策をご案内いたします。詳細は下記に記しますのでご協力の程宜しくお願い致します。

謹白

記

◎第31回全国社会人躰道優勝大会

・日時：令和4年9月17日(土曜日)

・入館：審判、役員 8:30

：選手 9:00～（出場種目に合せ入館）

・午前9時30分（予選開始）～午後6時（終了予定）

・会場：東京武道館 〒120-0005 東京都足立区綾瀬3-20-1 TEL 03-5697-2111

【集合時間】

昨年同様に競技場への人数制限がございます。競技ごとの開始、閉会を予定しておりますので参加される競技に合わせてご来場お願い致します。

【新型コロナ対応】

「大会2週間前対応」：9/3～体温チェック。対象は来場者すべての方。

「抗原検査の実施」：来場者は全て抗原検査で陰性を確認することと致します。

「体調管理報告」：9/16（8：00～15：00）に来場者は各自、抗原検査を実施し、陰性を確認。

来場者全員（選手、役員、審判）、体調管理を報告（Google foam 入力）

※Ctrl を押しながらクリックしてリンク先を表示させてください。

[第31回全国社会人躰道優勝大会\\_事前確認フォーム \(google.com\)](https://www.google.com)

「大会当日」：出場種目の実施のある時間枠のみ入退場。

館内の総人数を武道館側も実行員会側も把握する必要があり、入退場の制限があります。諸事情で入退場が必要な場合は役員に申し出てください。

東京体育館の対策として、うがい・手洗いを頻繁に行うことを推奨されていますので、ハンカチ・タオル等をご持参ください。

体温 37.5℃以上もしくは体調不良の場合や、直近2週間の渡航制限国の渡航

歴もしくは、感染者との濃厚接触者も入館をお断りいたします。  
(厚生労働省 基礎疾患基準)

[https://www.cov19-vaccine.mhlw.go.jp/qa/pdf/0034\\_1.pdf](https://www.cov19-vaccine.mhlw.go.jp/qa/pdf/0034_1.pdf)

飛び込み入館は不可。

「入館時」：武道館入り口前にて下記のチェックを行います。（来場者リストとの照合）

体温チェック（非接触体温計で測定）、手指先消毒、マスク着用。

更衣室限定のため可能な限り道着着用で入館をお願い致します。

大会スケジュールを競技ごとに分割、一度に入館できる人数を制限し、  
競技を実施致します。

（参加人数でスケジュールを変更いたします。詳しくは9月初頭発表予定の大会競技スケジュール表ご確認ください。）

「観客」：入館可能人数には制限があり、入館は選手並びに審判、役員のみとし、無観客での大会実施といたします。

「更衣室」：一般更衣室使用禁止（基本道着着用で入退館をお願いいたします。）

男性の更衣は、1F 第一武道場（畳）正面右側の和室（入室4名まで）

女性の更衣は、1F 第一武道場（畳）中の2階観客席横の和室（入室4名まで）

「競技場への入出」：1F 第一武道場（畳）と 3F 第二武道場（板の間）の人数制限（80名）

1F 第一武道場（畳）は該当競技出場者のみ入室可。

3F 第二武道場（板）は待機場所として使用。

競技・待機場所が決められています。

係員の誘導があった場合はその指示に従って移動をお願いします。

試合観戦や応援のための移動はお控えください。

各武道場ともにスケジュール表に沿って入退場をお願い致します。

「試合待機中」：選手控えや試合観戦時は密を避けるため各自1m間隔を開けること。

応援は声援禁止、拍手で行うこと。

観客席は禁止座席には着座しないこと。

「競技中」：マスク着用で実施。

競技者はスポーツマスク等、運動に適したマスク着用をお願い致します。

マスクの替えを用意するようお願い致します。

気合の発声で大声を発しないこと。（審判は発声の評価は行いません。）

選手呼び出しは行いますので、聞こえる程度の発生で対応をお願いします。

対戦後の握手は行わないこと。

試合終了時に手指先消毒実施のこと。

赤帯の使いまわしを避けるため、赤テープを胸部（見やすい位置）に着用。

「昼食・飲食」：第一武道場（畳）・第二武道場（板の間）内・通路（ベンチ含む）・中央ホールは飲食禁止になります。当日、大会実行委員会の指示に従ってください。

飲食等でマスクを外した際の私語は厳禁とします。

密にならないように各自間隔を開けること。

熱中症予防のため、こまめな水分補給をお願い致します。

「退館」：出場種目のない選手は、館内の人数制限のために競技終了時に退館ください。それ以外で退館しなければならない方は必ず役員と武道館側に退館する旨をお伝えください。館内の人数管理のためにご協力お願い致します。

「開会式」：開会式は簡易的なものにいたします。

「閉会式」：閉会式は行わず、競技ごと予選から決勝まで実施し、コート内で審判よりメダル授与を行います。賞状は後日郵送いたします。  
最高師範杯ならびに三賞は大会ホームページにて発表し、賞状とトロフィーは後日郵送いたします。

「その他」：・面ピット、胴プロテクターは個人持ちとし、共有を避けること。

（タオル・飲み物なども共有は行わないようお願い致します。）

- ・選手、審判、役員全員入館中はマスクを常時着用ください。
- ・マスクの種類は指定なし。フェイスシールド使用は禁止。
- ・予備のマスクをお持ちください。適宜交換や、実戦で破れる恐れあり
- ・会場内での試合結果の掲示は三蜜を避けるために行いません。  
（ネット内でご確認ください。）
- ・大会中に発熱や体調を崩した場合、速やかに役員に申し出てください。
- ・大会後2週間以内に新型コロナウイルス感染の疑いのある症状が出ましたら速やかに日本躰道協会に申し出てください。

\* 新型コロナ感染状況により対応に変更が生じる可能性があることご了承ください。

\* 提供いただいた個人情報は、今大会以外には使用致しません。

以上



東京武道館／足立区綾瀬3-20-1  
東京メトロ千代田線「綾瀬」下車徒歩5分